

3月の休日当番医

医科

- ◆ 6日(土)午後5時～8日(月)午前8時
獨協医大日光医療センター ☎76-1515
- ◆ 13日(土)午後5時～15日(月)午前8時
川上病院 ☎22-2311
- ◆ 20日(土)午後5時～22日(月)午前8時
森病院 ☎22-1024
- ◆ 22日(月)午前8時～23日(火)午前8時
日光市民病院 ☎50-1188
- ◆ 27日(土)午後5時～29日(月)午前8時
今市病院 ☎22-2200

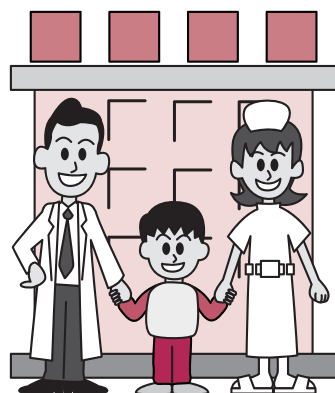
歯科

診療時間…午前10時～午後4時

- ◆ 7日(日)
福田歯科医院 ☎22-1335
- ◆ 14日(日)
小林歯科医院 ☎22-0303
- ◆ 21日(日)
きりふり・宮川歯科医院 ☎53-0366
- ◆ 22日(月)
野村歯科医院 ☎93-2224
- ◆ 28日(日)
近藤歯科医院 ☎26-6620

休日急患こども診療所

ところ 今市保健福祉センター
診療日 日曜日・祝日・振替休日
診療科目 小児科
※入院を必要としない、比較的軽症のお子さんが対象です。
受付時間 午前9時～11時30分
午後2時～4時30分
午後7時～10時
電話番号 ☎30-7299(診療日のみ)



乳幼児相談

内容	対象地域(地区)	とき	受付時間	会場
12か月児相談	栗山地域	4日(木)	午前10時30分～11時	栗山保健センター
	日光地域	8日(月)	午前9時30分～10時	日光福祉保健センター
	藤原地域	9日(火)	午前10時～10時30分	藤原保健センター
	今市地域全地区	25日(木)	午前9時～10時	今市保健福祉センター
すくすく子育て相談 ※母子健康手帳持参	栗山地域	4日(木)	午前10時30分～11時	栗山保健センター
	今市地区	5日(金)	午前9時30分～11時	今市保健福祉センター
	豊岡地区			豊岡支所
	日光地域	8日(月)		日光福祉保健センター
	藤原地域	9日(火)	午前10時～10時30分	藤原保健センター
	落合地区	12日(金)	午前9時30分～11時	落合公民館
	大沢地区			大沢地区センター
	塩野室地区			塩野室支所

成人健康相談(全地域対象)

内容	とき	会場	受付時間
総合健康相談 ※栄養相談を含む	5日(金)	今市保健福祉センター	午前9時30分～10時30分
	9日(火)	藤原保健センター	午前10時～正午

- ◆お住まいの地域にかかわらず、どちらの会場でも相談可能です。
- ◆健康課成人健康係では、随時相談をお受けしますので、ご連絡ください。

乳幼児健康診査

内容	対象地域(地区)	とき	受付時間	会場
4か月児健診	今市・塩野室	17日(水)	午後1時～1時30分	今市保健福祉センター
	日光地域	24日(水)	午後1時～1時15分	日光福祉保健センター
	豊岡・落合・大沢	25日(木)	午後1時～1時30分	今市保健福祉センター
	藤原地域			藤原保健センター
8か月児健診	今市・塩野室	11日(木)		今市保健福祉センター
	豊岡・落合・大沢	18日(木)		今市保健福祉センター
	日光地域	24日(水)	午後1時15分～1時30分	日光福祉保健センター
	藤原地域	25日(木)	午後1時～1時30分	藤原保健センター
1歳6か月児健診	日光地域	3日(水)	午後1時～1時15分	日光福祉保健センター
	今市・塩野室	10日(水)		今市保健福祉センター
	豊岡・落合・大沢	19日(金)	午後1時～1時30分	今市保健福祉センター
	藤原地域	23日(火)		藤原保健センター
2歳児 歯科健診	今市地域全地区	4日(木)		今市保健福祉センター
	日光地域	10日(水)	午後1時～1時15分	日光福祉保健センター
	藤原・栗山地域	11日(木)		藤原保健センター
3歳児健診	今市・塩野室	24日(水)	午後1時～1時30分	今市保健福祉センター
	豊岡・落合・大沢	26日(金)		今市保健福祉センター

- ◆各健診の対象児は、受診日に対象月齢・年齢に達している乳幼児です。
- ◆各健診は、どの会場でも受けられますが、お住まいの地域以外の会場で受ける場合は、健康課まで必ずご連絡ください。

3月健康診査・検診

お問い合わせは
健康課(今市保健福祉センター内)
☎(21)2756

アレルギー性鼻炎について

アレルギー性鼻炎は、ダニやハウスダストなどが原因となる通年性のものと、花粉が原因となる花粉症のように季節性のものに分けられます。1970年ごろより急増し、なお増加を続けています。急増した原因は、抗原量の増加が第一と考えられます。通年性のものは、住宅建築の変化、特に、機密性の高い建物によって室内の塵の中にダニが増加したことが原因の一つです。大気汚染や栄養、ストレスのほか多くの因子が増加に關与していると推定されますが、十分な確証があるとはいえません。季節性の花粉症は、戦後、スギが国有林の広い範囲で植林され、1960年代後半より花粉産出力の強い樹齡30年以上のスギ林面積が多くなり患者数が急増しました。また、発症は若年化し、10～30歳がピークとなり乳幼児にも見られます。小児の場合の特徴は、アトピー性皮膚炎やぜんそくを合併している例が多いということです。発症のメカニズムは、I型アレルギー(即時型)反応で遺伝的要因も重要です。症状は、発作性反復性のくしゃみ、水



今市医師団幹事
吉原医院 吉原光恵